

学長スイーツ企画

活動場所：右京区 活動開始：平成28年5月～

花園大学HLP
(Hanazono Leaders Project)



樹々の会
銚杉塾
右京区役所

■ 地域が抱えていた課題

京北地域は過疎化の進行が顕著であり、「まちの活性化」を担うことはこの地域にキャンパスがある大学として、求められる役割だといえる。

■ 取組（連携）のきっかけ

本学ではスイーツの開発を通して大学を盛り上げるため、全学的に取り組むリーダー輩出プロジェクト（略称 HLP）の学生メンバーが、学長と共に学食で販売する「スイーツ企画」があった。

そこで学生たちが単にスイーツを開発するのではなく、地域貢献にも繋がるように、大学の施設のある右京区京北地域の食材を探し始めたのがきっかけである。

■ 具体的な連携の取組

スイーツの材料に京北産の山椒やくろもじを使用するだけでなく、「スイーツ企画」の際に、材料の生産者や地元のスイーツ販売店からアドバイスをもらった。さらに、スイーツ販売にあたってのオープニングイベントにも参加をしてもらい、スイーツ購入者に京北と大学との連携を知ってもらうことで、京北産の食材をアピールした。

■ 今後の活動

第二弾の「スイーツ企画」だけでなく、京北産の食材販売を支援できるように、お茶をはじめ、他の京北産の食材・商品を取り入れた「京北カフェ」の開催を企画している。また、平成29年の春には、大学が開発した食品を東京の展示会に出展するなど、京北産の食材を大学と地域の活性化、さらには学生の成長を促すべく、取り組んでいく。

■ 成果

①大学・学生の視点

地域の発展をテーマに据えたことで、企画の幅がより広がり、地域の実情を知るきっかけとなり、学生にとって新たな気づきを得る機会となった。

②地域の視点

- 学生のアイデアや今までなかった発想が食材の活用につながった。
- 食材の活用により販売先の開拓、京北産食材の認知度の向上につながった。
- メディア等への露出による京北地域の認知度の向上につながった。



京北町フィールドワーク

活動写真



京北町フィールドワーク1回目



京北町フィールドワーク2回目①



京北町フィールドワーク2回目②



学長試食プレゼン



試食会



学生食堂打ち合わせ

学長スイーツ企画

